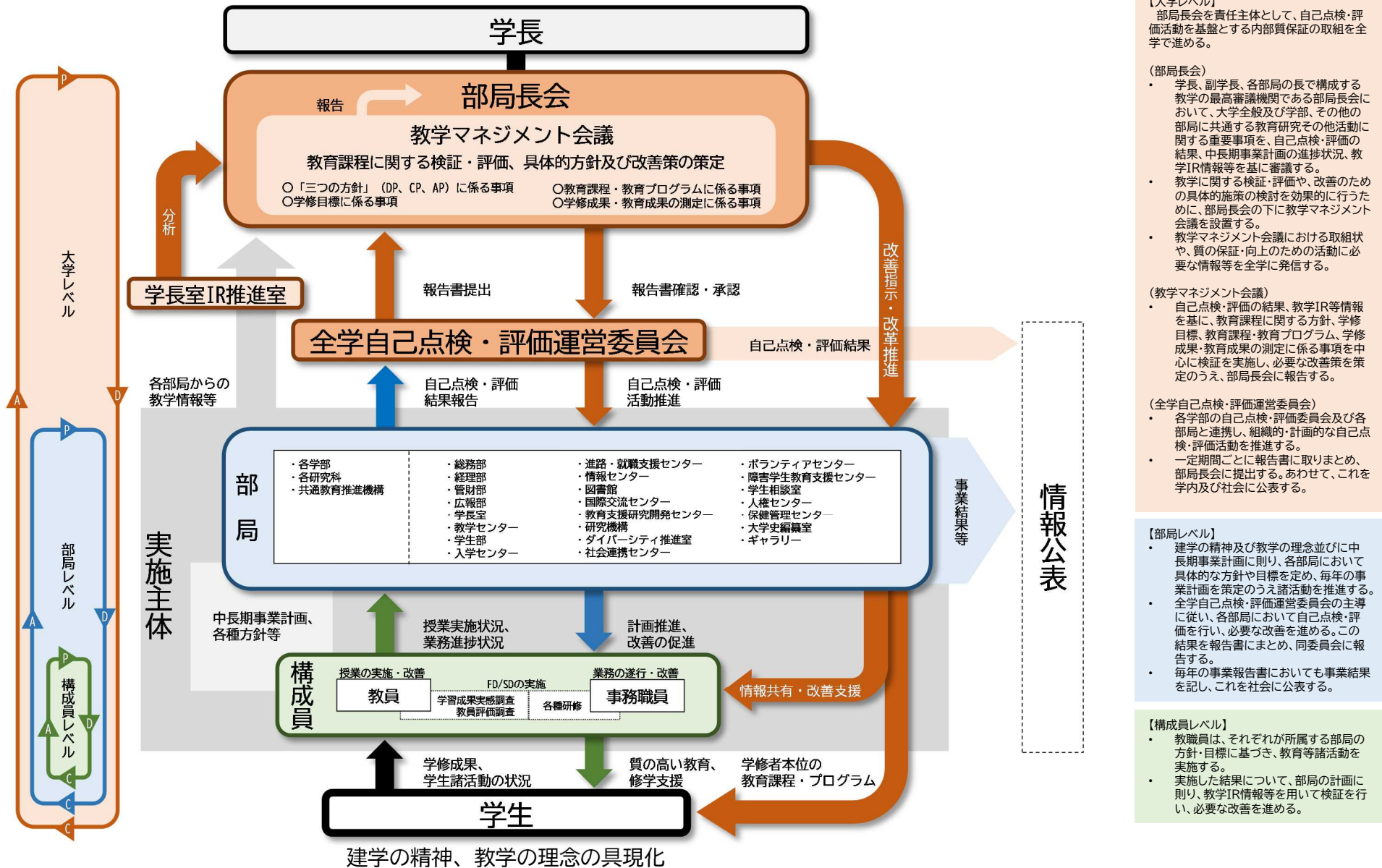


京都産業大学 内部質保証の考え方及び手続

- ・ 建学の精神及び教学の理念を具現化し、社会的使命を果たすため、中長期事業計画をはじめとする各種方針等に則り、教育研究、社会貢献等諸活動を進める。
- ・ 内部質保証として、自己点検・評価を組織的・恒常的に実施し、この結果を基に、質の保証・向上及び社会に対する説明責任を果たしていくための不断の改善・改革を全学で進める。



【大学レベル】
 部局長会を責任主体として、自己点検・評価活動を基盤とする内部質保証の取組を全学で進める。

(部局長会)

- ・ 学長、副学長、各部署の長で構成する教学の最高審議機関である部局長会において、大学全般及び学部、その他の部局に共通する教育研究その他活動に関する重要事項を、自己点検・評価の結果、中長期事業計画の進捗状況、教学IR情報等を基に審議する。
- ・ 教学に関する検証・評価や、改善のための具体的施策の検討を効果的に行うために、部局長会の下に教学マネジメント会議を設置する。
- ・ 教学マネジメント会議における取組状況や、質の保証・向上のための活動に必要な情報等を全学に発信する。

(教学マネジメント会議)

- ・ 自己点検・評価の結果、教学IR等情報を基に、教育課程に関する方針、学修目標、教育課程・教育プログラム、学修成果・教育成果の測定に係る事項を中心に検証を実施し、必要な改善策を策定のうえ、部局長会に報告する。

(全学自己点検・評価運営委員会)

- ・ 各学部の自己点検・評価委員会及び各部署と連携し、組織的・計画的な自己点検・評価活動を推進する。
- ・ 一定期間ごとに報告書に取りまとめ、部局長会に提出する。あわせて、これを学内及び社会に公表する。

【部局レベル】

- ・ 建学の精神及び教学の理念並びに中長期事業計画に則り、各部署において具体的な方針や目標を定め、毎年の事業計画を策定のうえ諸活動を推進する。
- ・ 全学自己点検・評価運営委員会の主導に従い、各部署において自己点検・評価を行い、必要な改善を進める。この結果を報告書にまとめ、同委員会に報告する。
- ・ 毎年の事業報告書においても事業結果を記し、これを社会に公表する。

【構成員レベル】

- ・ 教職員は、それぞれが所属する部署の方針・目標に基づき、教育等諸活動を実施する。
- ・ 実施した結果について、部局の計画に則り、教学IR情報等を以て検証を行い、必要な改善を進める。

建学の精神、教学の理念の具現化